

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成24年2月24日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

大遠忌法要が円成

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を
機縁として「新たな始まり」を期する消息

昨年の四月九日よりお勤めしてまいりました親鸞聖人七百五十回大遠忌法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。各地から多くの方々にご参拝いただき、六十五日間百十五座にわたるご法要を厳粛にお勤めすることができましたのは、仏祖のご加護と宗祖のご遺徳のおかげであり、御同朋御同行の方々の報恩謝徳の懇念のたまものと、まことに有り難く存じます。

顧みますと、ご法要の始まる直前の三月十一日、東日本大震災がおこりました。その後も各地で地震、豪雨など災害が続き、大変な一年となりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。法要参拝を楽しみに待ちながら、災害やさまざまな理由で参拝できなくなった方々のことを、忘れることができません。

地球の歴史を考えます時、自然現象としての地震や豪雨は、数限りなくあったことでしょう。しかし、それが深刻な災害となるのは、人間のあり方、社会のあり方によります。特に、今回の原子力発電所の事故は、自然の調和を破り、後の世代に大きな犠牲や負担を強いることになりました。これは肥大した人間の欲望のもたらしたところであります。

聖人は、凡夫には清らかな心も真実の心も存在しないとお示しになりました。それは、阿弥陀如来の光に照らされて明らかになる私の姿です。凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていただきます。阿弥陀如来はいつでも、どこでも、照らし、よびつづけ、包んでいてくださいます。

本願念仏のご法義は、時代が変わり、社会が変わっても、変わることはありません。しかし、そのご法義が生きてはたらく場である現実の社会は、地域によって異なり、時とともに変わります。ご法義を伝え、広めるための宗門の組織も、社会の変化に応じて変わる必要があります。歴史を顧みて、受け継ぐべき伝統を確かめ、創造的な活動を育てていかなければなりません。本年四月一日から、宗門の体制が改められますのも、時代に即応する営みの一つであるといえましょう。新しい体制のもとで、一人ひとりが抱える課題を大切にし、お念仏を喜び心豊かに生きることのできる社会を目指しましょう。このたびの大遠忌法要が、新たな歩みを進める機縁となりますよう願いたします。

平成二十四年

二〇十二年

一月十六日

龍谷門主 釋即如

23年 忘年会 美味しくいただき、ゲームにプレゼント。二次会也大ハッスル！



小倉組寺院交流会ボーリング大会参加しました。賞品もいっぱいいただきましたよ！



七百五十回大遠忌 御影堂内のお荘厳と外観・阿弥陀堂と山門・高札



1



2



3



4



5



6



7

750回大遠忌法要 御正当だけのお荘厳

1・4 お供物は左右ともに25品

朱色の和蝋燭は3キ口、54センチの特注品が3対 3 中央の登高座の左右にご遠忌特別の「幡(ばん)」—という旗が設置 もうこの光景には会えません。

5 御影堂と特設席 6 阿弥陀堂 7 御影堂正面の山門 法要修了式の後、高札が撤去されています。 こうした外の姿も見られません。

ご 案 内

と き 平成 24 年 3 月 8 日より 9 日まで

春 季 彼 岸 法 要

	8日(木)	9日(金)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

講 師 (門司区大積) 浄光寺前住職

本願寺派布教使 大沼信隆 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

お寺よりのお願い

3 月 5 日 (月)

10:00より15:00まで

彼岸法要の準備をいたします。
納骨堂の清掃・本堂の清掃と荘
厳をいたします。お集まりく
ださい。お昼を用意しています。

正善寺ホームページのご紹介

ホームページを開設しています。ご覧になったことが
ありますか？ 未だの方はぜひご覧ください。

インターネットホームページアドレスはこちら

<http://www.shouzenji.org/>

お花ブログも好評ですよ。ぜひどうぞ！



次女 行子

御正当初日の1月9日
本願寺での成人式に参列
しました。祖母をはじめ、
姉妹、従妹もお祝いに来
てくれました。



行事ご案内【如来大悲の恩徳は身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みんなでお祝いしましょう

花まつり・甘茶接待

【日時】4月9日(月)午前11時より午後1時まで【会場】正善寺・神岳保育園玄関前

初参式 (しょさんしき) 正善寺本堂にて

【とき】6月3日(日)午前11時開始

小さいお子様がお寺の仏様の前で初めてのお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。家族でおいで下さい。お待ちしております。

次回の法要のご案内 永代経法要

【とき】6月2日(土) 昼席・3日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

編集後記

今年は、春の訪れが少し遅いようですが、梅の花の小さな蕾が春をしらせてくれるようです。皆様お元気でお過ごしでしょうか。京都の本願寺では昨年の四月より始まった親鸞聖人 750 回大遠忌法要も今年の一月に御満座をむかえました。四月、御門徒の皆様と、五月、世界仏婦大会を兼ねて組内の坊守様方と、七月、仏教保育、まことの保育大会にて、保育園関係の方々、10月、神岳保育園の先生方と、1月、住職、娘等と、ありがたいご縁に何度も遇わせていただきました。きっとこれから先、一年間のうちにこんなに京都に上げられることはないことだと思います。そして50年先の800回大遠忌法要は、100歳、ひとりで、元気に上がっていらいいのですが、うーん、お浄土からかな。と娘に言ったら「心配しなさんな。連れてきてあげるから、だから、元気でいて」といわれました。これからの50年、いやいや寿命はわからないので、5年かも10年かも、私はどんな生き方をするのだろう、どんな生き方をしたらいいのだろう、自問自答です。ご門主様のご満座終了後の「ご消息ご発布」の中で、凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世の中安穩慣れ、仏法ひろまれ」と精一杯努力させていただきます。阿弥陀如来はいつでも、どこでも、照らし、よびつづけ、包んでいてくださいます。とお言葉をくださいました。阿弥陀如来様につつまれているわたし、わたしができることは本当に小さくて、はかないことですが、「私は何をしたらいい」自問のあとには「そのまま任せ、そのままでもいいよ」と答えを下さり、つつみこんでくださる大きな御手の中で、私ができる精一杯のことをして今生を歩ませていただきたいと思ひます。

春のお彼岸法要、園児の描いたあたたかい仏さまの絵と春のたくさんのお花の中で勤めさせていただきます。どうぞたくさんお参り下さいませ。

合掌